

○ 地域活動支援センター『UNEHAUS ウネハウス』を拠点に米や野菜の栽培のほか山野に自生する植栽を採取し、障がい者と生活困窮者等が地域の高齢者と協働で農産物等の加工・販売を行い地域に貢献

基本情報

- 所在地：新潟県長岡市
- 活動地域：中間農業地域
- 団体名：認定特定非営利活動法人 U N E
- 選定表彰：
  - ・ H31 全国どぶろく研究大会in遠野 優秀賞 (主催：第13回全国どぶろく研究大会実行委員会)
  - ・ R2 新潟県優良経営体等表彰 (農福連携の部) 農業会議会長賞 (主催：新潟県)
  - ・ R2 ノウフクアワード2020 優秀賞
- 主力商品：どぶろく、農家レストラン、農家民宿、クロモジ茶、よもぎ、

取組の概要

- 障害者、高齢者、生活困窮者など多様な人材が米や野菜の栽培のほか「福祉市民体験農園OasisR」や「農家レストラン」「農家民宿」「キッチンカー」等の運営や「どぶろく雪中壺乃界」の製造に携わっている。
- 薬用商品の原料供給を目的に山野に自生するヨモギ、笹、クロモジなどを採取し調整、加工、出荷を行い障害者等の多様な人々の就労につながる取組を行っている。



福祉体験農園OasisR

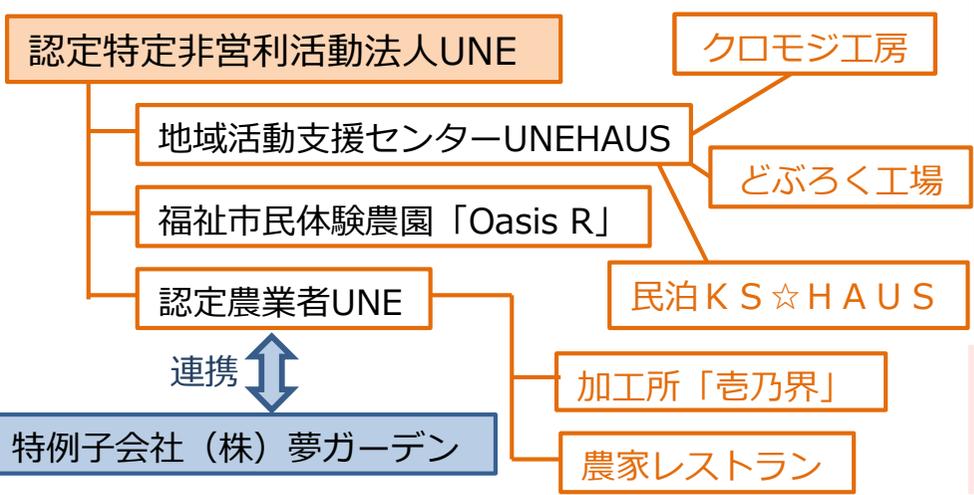


農家レストラン



薬用商品の原材料の加工

体制図



取組の成果

- NPO法人として県内で初めて農業に参入、翌年には認定農業者となり、中山間地域の担い手となる。
- クロモジの栽培と併せ、山林のクロモジを採取し医薬品会社に出荷、また、クロモジ加工品を製品化し需要を喚起することで、山林の整備にも貢献。
- 地域の特産物として、付加価値の高い商品作りを取組んだことで年々売上が上昇し、工賃も向上 (売上1,061万円 (H27) → 1,900万円 (R5))

所在地 ▶ 新潟県長岡市一之貝869  
 連絡先 ▶ TEL : 0258-86-8121 FAX : 0258-86-8131 E-mail : une\_aze@yahoo.co.jp  
 ウェブサイト ▶ <https://www.une-aze.com>

# 【取組のプロセス】

社会的弱者が地域で安心して暮らせる環境作りに取組む。

平成16年

平成24年、特例子会社「(株)夢ガーデン」が設立され、連携する。

平成23年

福祉農園等整備事業（H29）、農福連携サポーター育成・派遣支援事業（R2）を活用

平成25年

薬用飲料の原料となるヨモギ栽培に着手し、条件の悪いほ場も活用。

平成30年

全国どぶろく研究大会濃芳醇の部優秀賞（H31）、新潟県優良経営体等表彰農福連携の部農業会議会長賞（R2）受賞

令和2年

（R4）農山漁村振興交付金（農福連携対策）簡易整備型でUNEHAUSに作業場を整備

今後の展望

きっかけ

新潟県中越地震をきっかけに、障がい者や高齢者にはいっそうの支援が必要と感じる。

## NPO法人として県内で初めて農業に参入

- 平成23年4月、障がい者地域活動支援センターUNEHAUS（ウネハウス）と特定非営利活動法人UNEを設立。
- 平成24年、障がい者と家族による野菜づくり活動などを経て、NPO法人として県内で初めて本格的に農業に参入。
- 平成25年、認定農業者となり、農業だけではなく地域の活動に積極的に参加。



UNEHAUS（ウネハウス）

## 農家レストラン、どぶろく製造、農家民宿、様々な仕事

- 平成25年、農家レストランの営業を開始。農業だけでなく農家レストランや加工、作業請負など、様々な事業を展開することで、障がい者や高齢者等それぞれの適性に合った仕事の場を創出。
- 平成27年、どぶろく製造を開始。翌年にはUNEHAUSで簡易宿泊営業許可を取得。



どぶろく「雪中吉乃界」

## 福祉・市民体験農園、クロモジ工房をオープン

- 平成30年、長岡市街の河川敷に「福祉・市民体験農園Oasis R」を開園。同年、クロモジ工房をオープン。クロモジ茶、クロモジミストを生産。
- 平成31年3月、認定NPO法人となり、広く地域貢献事業「送迎や雪下ろし等」で活躍。



ヨモギの収穫

## ノウフク・アワード2020 優秀賞受賞

- 令和2年、ノウフク・アワード2020 優秀賞受賞
- 農福連携の普及啓発のため、農福連携サポーター養成講座を開講し人材育成に取り組む。
- 令和5年より農福連携を活用した、ひきこもり支援を開始。

## 中山間地域で新たな里山集落コミュニティを構築

- 障がい者、高齢者、生活困窮者、ひきこもり等の受け入れを行うとともに、生き生きと働き、社会参画を果たし、生活できる環境を作り「コミュニティ・ソーシャル・ファーム」の実現を目指す。
- 育成した農福連携サポーターを通じ、農家と障がい者の間に立ち農福連携を推進するとともに、新潟県内に農福連携の運動を普及していきたい。



越後一之貝の棚田